

# 現代漢語における外来語の借用

— 文化的視点から —

巖 萍<sup>\*1</sup>

## I. はじめに

言語は、社会生活に欠くことのできないコミュニケーションの手段であり、また人間の思考様式と深く関わっているだけでなく、人間と他の動物を区別する基本的な特徴の1つである。人間は、言語を用いて思考し、経験と知識を次々に伝え、人類の文化と文明が継承されるとともに、さらに新たな文明を造っていく。漢民族の文化は古来より、他民族・他国文化との接触の中で、他の文化から多くの影響を受けてきた。これらの影響が言語において、もっとも顕著に表れるのは、外来語である。外来語は言語の中で社会や文化の変化にもっとも敏感な部分であり、その社会や言語のもっている異文化への適応力と包容力を反映しているからである。

したがって、現代漢語における外来語を研究することは、異文化接触の産物として外来語を考察するだけでなく、今日の中国社会の文化様態への分析にも大いに役立つ。しかしながら、従来の外来語研究では、他国から受けた文化的影響や、異文化の移入を中心とした回顧的な考察が多く、現代漢語における外来語の実態およびその分類などについて詳しく検討されておらず、またそこに潜んでいる異文化との交渉といった視点もさほど論じられていない。そのため、本稿では、まず言語学的視点から、現代漢語における外来語が取り入れられる方法に基づいた外来語の分類とそれぞれの特徴を検討する。その上で、文化的視点から、現代漢語における外来語の借用に映された文化的心理の特徴、および、今日中国の社会文化の変容を反映する外来語の変化を考察する。

## II. 現代漢語の外来語の分類と特徴

漢語外来語の歴史は、先秦上古時代に遡ることができる(史, 2000)。たとえば、匈奴、西域から吸収した琵琶、葡萄などの外来語である。長い歴史をもつ漢語外来語の定義に関しては、学者間に立場の違いが見られ、まだ共通した結論にまで至っていないのが現状である。たとえば、「原語の発音のみを借用した語である」という外来語の定義では、和製漢語と意識語が扱われていない。または、「外国語から漢語に取り入れた語である」という外来語の定義では、漢民族以外の少数民族の言語を原語とする外来語が省かれている。これらの定義に対し、本論文では、外来語の概念を広義に用いることとする。すなわち、ここで扱っている現代漢語における外来語とは、漢語の語彙体系に取り入れられている他国や他民族の言語を原語とする語である。そして、外来語の借用方法に基づき分類してみると、現代漢語に使われている外来語は、下記のような4つの種類が得られる。

(1) 主として他言語の発音に由来するもので、以下「音訳外来語」と呼ぶ。

---

\*1 言語コミュニケーション学科非常勤講師

- (2) 主として他言語の意味に由来するもので、以下「意識外来語」と呼ぶ。  
 (3) 主として日本語の漢字に由来するもので、以下「形式借用の外来語」と呼ぶ。  
 (4) 主として原語の略語形に由来するもので、以下「イニシャル外来語」と呼ぶ。

では、それぞれの特徴について詳しく見てみよう。

## 1. 音訳外来語

音訳外来語は、原語の発音を拼音で再現できるような漢字で表記した語である。音訳外来語には、人名、地名<sup>※2</sup>、企業名、化学元素、スポーツ、度量衡、楽器などの固有名詞が多い。その表記方法について、以下のようにまとめることができる。

まず発音については、原語のなかの軽音、あるいは、漢語においてそれに相当する発音のない原語の発音が、音訳外来語では往々にして省略される。

|            |             |
|------------|-------------|
| 例 胎 (tāi)  | タイヤ (tyre)  |
| 打 (dǎ)     | ダース (dozen) |
| 巴士 (bāshì) | バス (bus)    |

母音後の「l」は「r」と読むのに対し、母音前の「r」は「l」と読む。

|                 |              |
|-----------------|--------------|
| 例 尼泊尔 (nībó'ěr) | ネパール (nepal) |
| 罗马 (luómǎ)      | ローマ (Roma)   |

次に表音漢字について、発音が一定である漢字を用いている。すなわち、「多音字」(複数の発音をもつ漢字のこと)、および、方言による読み方の異なる漢字の使用をできる限り避けている。

|                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 例 克力架 (kèlìjiǎ) | クラッカー (cracker)    |
| 巧克力 (qiǎokèlì)  | チョコレート (chocolate) |
| 沙发 (shāfā)      | ソファ (sofa)         |
| 麦克风 (màikēfēng) | マイク (microphone)   |

さらに、同じ発音をもつ漢字の中では、漢民族の文化や社会的習慣に準ずる漢字を優先的に選ぶ。特に社名や商品名の訳語は、この特徴をよく表している。例えば、以下のような女性用品に関する商品名の訳語は、原語の発音を再現するとともに、女性の繊細な感性を体現する「雅、姿、兰」の漢字を用いている。

|        |                         |
|--------|-------------------------|
| 例 雅诗兰黛 | エスティ ローダー (EsteeLauder) |
| 古姿     | グッチ (Gucci)             |
| 娇兰     | ゲラン (Guerlain)          |

医薬品では、病気を鎮め、健康を祈る意味合いを含む「康」(康必得)や「宁」(达克宁)などの漢字もしばしば使用されている。周知のように、「宝马 (BMW)」「奔驰 (ベンツ)」「马自达 (マツダ)」といった商標も音訳外来語の好例である。このうち、特にマツダは、他の日本企業のように、「豊田」や「日産」などそのままの日本名を使っていないことがとても興味深い。それは、マ

※2 一方、日本語や韓国語など漢字で表示される地名と人名は、そのままの漢字、あるいは、字形の近い漢字で書かれるのが普通である。

ツダ（松田）の中国語の発音（sōngtián）が「送天（sòngtiān）」と似て、「天国に送る」という不吉な意味をもつからだと思われる。このように、企業名や商品名の音訳外来語は、企業マーケティングの重要な一環として、漢字の意味までも考慮し、企業理念と商品イメージを伝達するための工夫が盛り込まれている。

また、日常生活に浸透している多くの音訳外来語は、その一部が造語要素として、いろいろな言葉と結びつき、次々に新語を作り出してきた。これは、音訳外来語のもつ新鮮感が、流行語の条件にうまくあっているからであろう。特に身近なものであればあるほどこの特徴を顕著に表している。

|             |                |
|-------------|----------------|
| 例 的士（タクシー）  | 面的, 打的, 的哥, 的姐 |
| 巴士（バス）      | 小巴, 中巴, 大巴     |
| 酒吧（バー）      | 迪吧, 网吧, 氧吧     |
| 超级市场（スーパー）  | 超短裙, 超现实, 超负荷  |
| 网络（インターネット） | 网恋, 网龄, 网虫, 网友 |

## 2. 意識外来語

意識外来語は、外国語からの訳語と異なり、舶来の新概念や新事物の内容を表現するために新たに作り出された漢語のことである。意識外来語の存在は、文字の表意性と特徴付けられる漢字が新たな組み合わせを通じて、斬新な意味の表現を可能にさせるものである。そのため、もっとも一般的な意識外来語は、発音とまったく関係なく、原語の全体を意味で示す「全体意識語」である。

|       |                          |
|-------|--------------------------|
| 例 千年虫 | 2000年問題 (millennium bug) |
| 绿卡    | グリーンカード (green card)     |
| 情商    | EQ (Emotional Quotient)  |

このうち、直訳では分かりにくい原語に対し、言葉を加えて、原語の内容を端的に表現するような全体意識語もある。例えば、以下のような訳語では、原語にはなかった「器」「听」「宠」の意味を加えることによって、訳語としては意味が分かりやすくなる。

|       |                |
|-------|----------------|
| 例 浏览器 | ブラウザ (browser) |
| 随身听   | ウォークマン         |
| 宠物    | ペット (pet)      |

次は、新たな概念や事物の原語に対し、現有の意識語のみでは表現しきれない部分を音訳で訳すという「半新半旧」「中西合璧」（新しいものと古いものとの融合、中国のものと西洋のものとの合体）の訳し方による「一部意識語」である。

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 例 硬件 | ハードウェア (hardware)            |
| 纳米技术 | ナノ技術 (nano-technology)       |
| 文化休克 | カルチャーショック (culture shock)    |
| 水上芭蕾 | シンクロナイズドスイミング (water ballet) |
| 奶昔   | ミルクシェイク (milk shake)         |

最後は、原語を音訳または意識した上で、その訳語の前または後ろに物事の属性や類別などを示す語彙を加えた「複合外来語」である。

|        |                    |
|--------|--------------------|
| 例 高爾夫球 | ゴルフ (golf)         |
| 保齡球    | ボーリング (bowling)    |
| 桑拿浴    | サウナ (sauna)        |
| 拉力賽    | ラリー (rally)        |
| 漢堡包    | ハンバーガー (hamburger) |
| 果醬     | ジャム (jam)          |
| 酒吧     | バー (bar)           |
| 葡萄酒    | ワイン (wine)         |

### 3. 形式借用の外来語

形式借用の外来語は、音または意というより、漢字で表記する日本語を語源とし、「文字」そのものを借用する語である。史 (2000, p.9) によれば、「外来語」という名称自体も日本からの舶来品である\*3。日本語と漢語との言語交流の歴史を顧みれば、アヘン戦争までは、日本が中国から漢学を輸入していたが、それ以降、中国が日本から哲学、社会学、自然科学などに関する専門用語の訳語を中心とする和製漢語を借用するようになったという大きな流れが見られる。

形式借用の外来語では、特に明治時代に作られた表意の和製訳語を日本語そのままの意味で借用するものが多い。例えば、「～学」「～論」「～主義」「～教」「～学派」「～説」「～力」「～法」「～化」「～性」「～的」「～界」「～党」「～式」を語尾とする表意の和製訳語である (朱, 2003)。一方、漢字に表記されている意味だけでなく、発音までうまく表現した音読の和製訳語もある。例えば、混凝土／混泥土 (concrete), 浪漫／浪漫 (roman), 簿記／簿記 (book-keeping), 优生学／優生物学 (eugenics), 瓦斯／瓦斯 (gas), 倶楽部／倶楽部 (club) などである\*4。改革開放以来、中日間の経済貿易往来の絶え間ない拡大とともに、「安全注意」「貿易振興」といった経済用語が、漢語の構文方法にしたがい、「注意安全」「振興貿易」に直され、中国語としても定着している。近年、「歌舞伎」「茶道」「柔道」といった日本の伝統文化に関する言葉や、「卡拉OK (カラオケ)」「便当 (弁当)」「人气 (人気)」「物語 (物語)」「写真 (写真)」といった大衆文化用語なども広まり、異文化の橋渡しとなっている。

次に、外来語の借用過程において、在来の語彙と競合しながら定着していくので、元の意味や格に変化の生じる語が少なくない (沈, 1993, 1994)。例えば、「会計」という借用語は、日本語では、①金銭・物品の収納の記録・計算・管理、また、その担当者、②企業の財政状態と経営成績を取引記録に基づいて明らかにし、その結果を報告する一連の手続、③官庁組織の単年度の収支を予算との対比で把握する予算決算、④飲食店などで代金を勘定して支払うこと、という4つの意味をもち\*5、動詞と名詞としての使い方が異なる。しかしながら、中国語の「会计 (kuàijì)」には、①と③の2つの意味しか取り入れられてなく、しかも名詞として用いられている。②と④の意味はそれぞれ、中国語の「报表」、「結帳」の言葉で表現されてきたからである。このような固有表現との衝

\*3 現在、中国の各学会に頻繁に用いられている「外来詞」は、高・刘 (1958) による用語である。

\*4 『漢語外来語詞典』に参照。

\*5 『広辞苑』(第五版)に参照。

突による変化以外に、借用語の意味変化の原因は、社会的・時代的な背景との関係もある。例えば、日本語の「検討」は、「物事の当否について、論理的・科学的に評価し、判定すること」を指すが、中国語では、「間違っただ思想や言動を反省すること」という政治的色彩を帯びてしばしば用いられる。

最後に、形式借用外来語のなかに、「回归词」（復帰詞）と呼ばれる言葉もいくつかある。それは、かつて日本に流出した古漢語が、新たな意味をもち、また現代漢語に戻ってきた外来語のことである。例えば、古漢語では、險要の場所を守ることを意味する「保險／保險」、国を治め、民を共済する「經国済民」、つまり「经济／經濟」<sup>※6</sup>、さらに「知识／知識」、「社会」、「労働」などの借用語も、現在、外国語への和製訳語と同じ意味で使われている。一方、すでに使用しなくなっていた古漢語（例えば、「料理」）が、日本文化の浸透によって、中国で再び使われるようになっている。

#### 4. イニシャル外来語

イニシャル外来語は、イニシャルの音訳、または、類語を付加する言葉である。イニシャル外来語は、流行語的な色彩が溢れ、現代社会の産物である<sup>※7</sup>。

|       |  |
|-------|--|
| 例 欧佩克 | OPEC (Organization of Petroleum Exporting Countries) |
| 丁克家庭  | DINK (Double Income, no kids.)                       |
| 波波族   | 中産階級 (bourgeois) とボヘミア (bohemia) から作られた造語<br>「ボボ」    |
| 托福    | TOFEL  |
| IP电话  | IP電話   |

以上、現代漢語における外来語の表記方法とその特徴について述べてきた。言語は、生きものだとよく言われている。それは、言語が社会・文化の移り変わりに伴って亡くなったり、また新たに誕生したりするからである。漢語における多種多様な外来語のなかで、中国人に受け入れられやすいものは、強い生命力を持ち続け、時代と共に生き続ける。換言すれば、強い生命力を持ち続け、時代と共に生きてきた漢語外来語はすべて刻々と変化している社会文化の要求に合致したものと言えよう。それ故、現代漢語の外来語を分析する際、そこに潜んでいる異文化コミュニケーションの背景からそれを考察する必要がある。

### Ⅲ. 現代漢語における外来語の借用と異文化コミュニケーション

一般に、言語学の立場から異文化コミュニケーションを考察する際、外来語の借用を含ませて考

※6 『岐公遗爱碑』では「朱崖黎民，保險三代」の記載がある。杜甫『上水遣怀』の詩の「古来经济才，何是独罕有」，および、『宋史・王安石传論』の「以文章节行高一世，而尤为道德经济为己任」の出典がある（『辞海』（下），p. 3045）。

※7 イニシャル外来語を最初に収録した辞書は、刘（2002）によれば、1996年版の『現代汉语词典』である。その後、『現代汉语小词典』（1999）、『現代汉语大词典』（2000）、『新华字典』（2001）、『中学生规范词典』（2001）などもイニシャル外来語を収録した辞書も出版した。最近、イニシャル外来語を中心とする『字母词典』（2001）、『实用字母词词典』（2002）も出版した。これら辞書の出版は、イニシャル外来語がすでに現代漢語に入れ込んだことを示している。

えない研究者はいないだろう。外来語は、異文化接触の結晶であり、異なる言語文化を融合させた産物だからである。しかしながら、外来語は、外来文化の移入に対しての文化史的な解釈を与えるばかりではなく、その外来語を使用している社会が、何のために新たな外来語を作り出すのか、そしてどのように特定の表記方法を選択するのかに関して、外来語を文化の一面として捉えることもできる。この意味で、仮に現代外来語が間もなく用いられなくなって、一時的な流行に過ぎないものだとしても、このような外来語の運命は、その外来語を必要とする今日の中国社会や文化の要請がどこにあるかを示し、「外来語としての文化」という視点をわれわれに提供してくれる。これに対し、外来語の使用と普及が異文化の移入を促すとすれば、逆に文化の現実的な再構築の現象を、外来語を介して説明することも可能と考えられる。これはいわば「文化としての外来語」である。したがって、本節は、「外来語としての文化」と「文化としての外来語」という2つの視点から、現代漢語における外来語の借用と異文化コミュニケーションとの相互作用の過程を考察する。

### 1. 外来語としての文化

外来語は、無差別に受け入れられるものではなく、その外来語を使用する主体たる一人ひとりの人間の側における取捨選択の結果として生き残るものである。前節では、漢語以外の言語を漢語化させるための異なる表記方法を考察した。しかしながら、ある特定の外来語を取り入れる際、数多くの借用方法の中で、なぜほかではなくある特定の表記方法が採られるのか、そして広く普及されるようになったのだろうか。以下では、外来語借用の根底には、どのような異文化受容に関わる要因が働いているのかを分析する。

#### ① 素早く情報を吸収するために

現代社会においては、特にいわゆる情報化・国際化の進展は、外来語をめぐる情報収集・普及の手段の拡大を促す新生面を開きつつある。技術の進歩や文化の変容の目まぐるしい今日、新しい情報を素早く吸収し、幅広く外来語による表現が必要となる時代を迎えている。こうした時代を背景に、外来語が特に使われる原因の1つに、それに対応する表現がもともとの言語に欠けているという場合がある。さまざまな専門用語、および、近代科学技術に基づく製品の名前がその典型である。大量な外来の物事や概念に関する漢語の外来語は、意識で表記されている。それは、意識のほうが、漢字から指示した意味を推測・連想しようとする漢民族の認知特性にうまく合っているからである。ただし、直ちに適訳がない場合、そして、訳語の語感の正確性と表現の明瞭さを求める場合は、音訳外来語やイニシャル外来語が使われやすい傾向にある。

#### ② ムード的な使用のために

専門用語とは対照的に、生活の中で出会う外来語において、従来の漢語で十分に表現できるにもかかわらず、外来語が好まれる理由は、「外来語表現のほうがおしゃれな感じがする」といった心理が見られる。例えば、「精品屋（セレクトショップ）」「宠物屋（ペットショップ）」などいわば漢製外来語は、中国語の「店（diàn）」を日本語の「～屋」で言い換え、作られた言葉である<sup>※8</sup>。

※8 この固有表現を置き換える例では、外山（1982）が示唆したように、外来語の流入において、自国文化と他国文化との比較の現象が生じるということを示している。すなわち、外来語は、事実上又は觀念上において、優越している文化から流入する可能性が大きいということである。

また、すでに存在した意識外来語が、音訳外来語に置き換えられるケースもある。例えば、音訳外来語の「伊妹儿（電子メール）」は、可愛い妹のイメージを人々に連想させ、元来の意識である「电子邮件」より頻繁に使われる傾向にある。

### ③ 審美観の要求に応えるために

文化的歴史を見ると、中国は長い間に多くの外来文化を吸収してきたにもかかわらず、吸収した文化が、孔孟儒学の思想を中核とする中華文化に代わって支配的地位を占めることができなかった。外来語も同様に、その外来語が示した外来文化は、中華文化に基づく審美観に受け入れられない限り、中国の社会に存続し得ない。例えば、フランス製のPoisonという香水の名前は、毒薬の意味をもち、大胆さや夢中の境界など西洋の美感には訴えるが、穏やかな東方美感には受け入れられにくいものである。これを理由とし、音訳の「百愛神 (bǎiàishén)」(みなに好かれる神様) が中国語の通称となっている。

### ④ 新奇性・社会的な流行を追求するために

流行は、言語活動を見直しはしない。新語や流行語でもある外来語が生み出された原因の1つには、慣れた言葉による表現に厭きて、新奇性を求めるからである<sup>※9</sup>。特に、広告や看板、テレビなどのマスコミに用いられる外来語は、関心を集めるためのものだと思う。例えば、昨年度、湖南衛星テレビの人気番組で、春雨を意味する「粉丝 (fēnsī)」をファン (fan) の音訳語として転用して以来、斬新奇抜に敏感な若者に歓迎され、たちまちそれが中国全土に広まった。

### ⑤ ユーモアを求めるために

どの時代の人間社会でも、その時代にとってのユーモア感が溢れる言語表現は普及しやすい。ユーモアが人を楽しませるのは、それを生み出すときではなく、それを共有するときだからである。この共有過程によって、「冗談のパターンの中に（経験した）全体の状況を再構成させ」、人々に何かを思い出させ、ユーモアが感じられるようになる (Douglas, 1975, p.97)。例えば、英語のsofaに由来する「沙发」の音訳語の元来の意味は、両端に肘掛のついている弾力のある革張り又は布張りの長椅子のことを指す。しかしながら、中国のソファのデザインは、中国南部の気候特徴に合わせなければならないため、中国語の「沙发」は、木製でソファの形をしているものから、柔らかい座布団のある椅子まで幅広い意味を持っている。最近、このソファという言葉が、腰掛けの代名詞として、「好奇心で傍観しているだけ」というニュアンスを含む意味としても使われるようになった。ここでのソファが、昔北京の下町で、賑わいを見物するために、街に出て、腰掛 (=「板凳儿」) にかける情景を人々に思い出せるという共感的な比喩表現によって、瞬間にインターネットの流行語となった。

以上、外来語の創出と受容に関して、特定の外来語、または、特定の表記方法が必要となる主な理由を述べた。勿論、これらの理由は、1つが著しく働く場合もあり、またいくつか働く場合もある。この中に働く要因を突き止めれば、文化の一面を外来語の視点から眺めることができる。

※9 ただし、このような新を逐うために生じた外来語は、歴史的に見れば、暫時はいかに広く知られていても、使う頻度が増やせば、平凡になってしまうので、極めて短い生命しかないものである。したがって、いわゆる外来語氾濫をもたらす外来語は、大部分これである。

しかしながら、外来語の漢語化過程は、固有文化に制約されるとはいえ、外来語の使用が、歴史的・伝統的な文化と異なる一連の行動パターンや、価値観および生活様式などへの注目を促す。正に Leach (1970) が述べたように、非常に微妙な言葉の差は、経験の流れのある部分を他の部分より注目させる。このように、一人ひとは、必要に応じて外来語を作り出すが、一旦出来上がってしまうと、その使用が、自らのものの見方の変化を導くようになる。今度は一人ひとりの認識の変化が、特定の分野や生活地域の文化（行動様式）の変化に波及していく。

## 2. 文化としての外来語

アメリカの言語学者・人類学学者サビアが述べたように、言語は、人間が概念や、情緒および欲望を伝達するための記号体系として、生物学的に遺伝した機能というより、後天的な文化的機能を果たす。なぜなら、言語は、一種の論理、ないし、支持のための一般的な枠を構成するものであり、それによってその言語を習慣的に使用する人々の思考の型を作るからである (Whorf, 1956)。この意味では、言語のなかの外来語の借用は、異なる文化的背景をもつ人々の間で行われるコミュニケーション現象であり、外来文化の移入と不可分の関係にある。

中国の経済改革開放の展開に伴い、現代の外来語の流入は、外資導入政策の実施と緊密に結ばれている。まず外来食文化の浸透は、「肯德基 (Kentucky)」、「麦当劳 (McDonald's)」、「快餐 (fastfood)」、「奶昔 (milkshake)」、「可口可乐 (Coca-Cola)」、「寿司」、「煎点 (おでん)」などの生活に関する外来語に映し出されている。そのほか、ファッション業界や交通業界での外資進出により、「牛仔褲 (jeans)」、「迷你裙 (miniskirt)」、「比基尼 (bikini)」、「隱形眼鏡 (contact lenses)」や、「空中客车 (airbus)」、「磁悬浮列车 (Maglev)」などの外来語が急増している。

経済的余裕が出るにつれ、音楽と娯楽に時間をさき、「爵士乐 (jazz music)」、「肥皂剧 (soap opera)」、「甲壳虫乐队 (the Beatles)」、「MTV (music television)」、「迪斯尼乐园 (Disney land)」、「呼拉圈 (hula-hoop)」、「保齡球 (bowling)」、「高尔夫球 (golf)」、「拉力賽 (rally)」、「蹦极跳 (bungee jumping)」などの外来語も目立つようになった。

現代人の文化価値観の変化も新たな外来語の普及から見られる。アメリカの経済タイムズ誌を語源とする「波波族 (ボボ族)」の言葉がその一例である。「波波族」は、中産階級の経済力や物質生活レベルに達した後に、ボヘミア的な自由奔放なライフスタイルを追求し、反中産階級的な精神状態を崇める人々のことを指す。この外来語は、市場経済化の進む中で、外資系企業や合弁会社、金融関係などで働き、高い学歴と高収入を得て、向上心も高く、自分らしい生活を実現しようとする人物像を捉えている。これに加え、伝統的な結婚観や家庭観にゆらぎを与える現代の中国女性の価値観、特に一部の若い女性の価値観の変化は、「单身贵族 (the eligible bachelor)」、「单身母亲 (bachelor mother)」および、結婚後子供を望まない夫婦を意味する「丁克家庭 (DINK)」などに描かれている。

このように、外来語の使用は、人々の舶来文化への気付き度を高めるのに対し、今日中国の文化変容は、外来語による表現の普及と定着をもたらす。では、舶来文化の移入を外来語の定着と見なすなら、漢語体系に大量に入った外来語をどう扱うべきであろうか。

外来語の歴史を振り返れば、まず分かるのは、外来語急増の現象は、特に変革の時期に顕著であ



る。例えば、漢唐盛世の「世界」「縁」「信仰」など大量の仏教用語や、五・四運動時期の「弁証法」「マルクス主義」「解放」などの外来語、および、改革開放政策が展開されて以来の新事物・新観念を表現する外来語の急増は、これを表している<sup>※10</sup>。この外来語の増加は、異文化との関りのなかで文化の多様化を促すだけでなく、異質文化への統合による文化発展の可能性の道も開いてくれる。世の中における各種文化の衝突と融合の過程は、必ず言語の接触を伴い、そして言語の接触が往々にして違う言語の流動を導く。巨大な生命力をもつ現存の言語では、1つも純粋に原始的な形を保っているものはない。なぜならば、異文化とのコミュニケーションや吸収がなければ、自らより優秀な文化を作り出すことは不可能であり、必然的に社会の発展に適応できず、言語の消滅につながる文化の滅亡が生じるからである。こうして、外来語の使用は、自らより外国の先進的な文化にさらに興味をもち、大量に取り入れることで、文化の発展につながる可能性をもたらす。したがって、外来語を取りすぎて、固有言語の独自性と規範性の破壊を危惧するより、むしろバランスよく異文化を吸収することが大切である。

#### IV. まとめ

言葉にはさまざまな民族文化の情報が蓄えられている。逆に言えば、言語表現を通して、我々は民族文化の情報を得ることができる。本論文は、現代漢語の外来語の表記方法、およびさまざまな表記方法の選択に反映された文化的制約を分析した上で、外来語の使用と今日における中国の文化変容との関係を考察した。この考察を通して、「外来語としての文化」と「文化としての外来語」からなる外来語と文化との相互作用の過程が示された。

勿論、外来語を通じて探り出せるものが、社会文化とその変容のすべてではない。けれども、特定の言語体系に生きる外来語は、時代、場所を問わず、その言語社会の人々のものの感じ方や考え方を表すはずである。それは、異なる言語で経験を組み立てる人が、異なるメンタルモデルをもつからである。したがって、各々の分野に入ってきた外来語の密度、固有言語に欠けている外来語の理由、表記方法選択の様態を文化の視点から究明すれば、外来語の研究は、歴史上における文化コミュニケーションの足跡を観察するだけでなく、現代の中国文化の基本的性格の研究への、重要な手段になりうるものと考えられる。今後、上述した文化的な視点から、さらに詳細な調査や研究が進められることを期待している。

#### 参考文献

- 有馬道子（訳） 言語・思考・現実：ベンジャミン・リー・ウォーフ論文選集 1978 南雲堂（Whorf, B. L. (J. B. Carroll ed.). 1956. *Language, thought, and reality: selected writings of Benjamin Lee Whorf*, Technology Press of Massachusetts Institute of Technology）
- 辞海委員会（編）1989 辞海 上海辞書出版社
- Douglas, M. 1975. *Implicit Meanings*. London: Routledge & Kegan Paul.
- 高名凱・劉正焱 1958 現代汉语外来詞研究 文字改革出版社
- Leach, E. 1972. *Anthropological aspects of language: animal categories and verbal abuse*, in P.

※10 これについて、史（2004）は、漢語に入ってきた外来語の数を、その時期と出自の原語に分けて集計し、その結果から、漢民族と中国周辺の少数民族・他国との文化の交流史への考察を通して明らかにした。

Maranda (ed.), *Mythology*, London: Penguin.

- 李行健 (編) 2001 中学生规范词典 中国青年出版社
- 刘涌泉 2002 关于汉字母词的问题 语言文字应用 第1期 85-90
- 刘涌泉 (編) 2001 字母词词典 上海辞书出版社
- 刘正焱・高名凯・麦永干・史有为 (編) 1984 汉语外来词词典 上海辞书出版社
- 沈国威 1993 現代中国語における日本製漢語 日本語学 第12卷7月号 41-49
- 沈国威 1994 近代日中語彙交流史——新漢語の形成と受容—— 笠間書院
- 沈孟璽 (編) 2002 实用字母词词典 汉语大词典出版社
- 新村出 (編) 1998 広辞苑 (第五版) 岩波書店
- 史有为 2000 汉语外来词 商务印书馆
- 史有为 2004 外来词——异文化的使者—— 上海辞书出版社
- 外山滋比谷 1982 文化のあり方と外来語 言語生活 第366期 26-32
- 朱京偉 2003 近代日中新語の創出と交流——人文科学と自然科学の専門語を中心に—— 白帝社
- 现代汉语大词典编委会 (編) 2000 现代汉语大词典 汉语大词典出版社
- 中国社会科学院语言研究所词典编辑室 (編) 1996 现代汉语词典 (第185刷) 商务印书馆
- 中国社会科学院语言研究所词典编辑室 (編) 1999 现代汉语小词典 (修订本) 商务印书馆
- 中国社会科学院语言研究所词典编辑室 (修订) 2001 新华字典 (修订本) 商务印书馆